

2014年度 決算説明会



2015年5月13日
株式会社ビー・エム・エル

2014年度業績概要

増収減益／修正計画達成

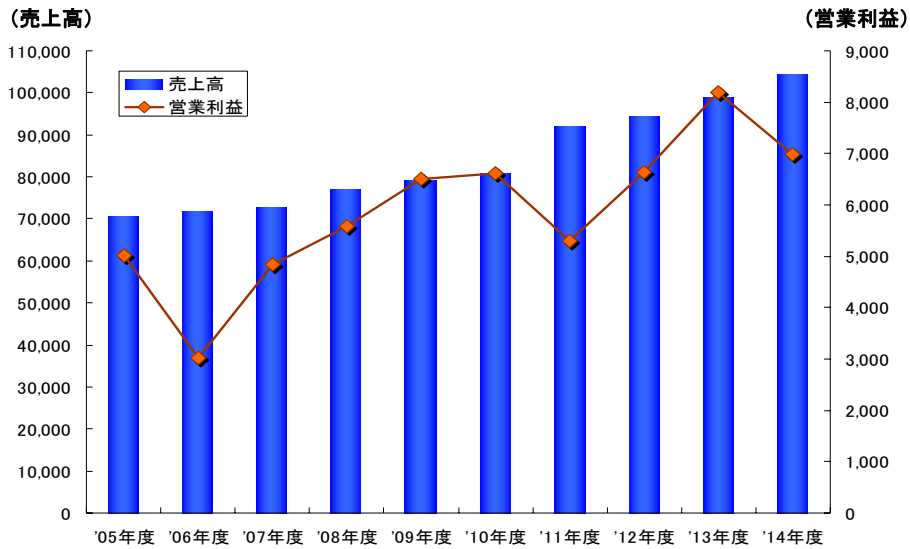
(百万円)

	2013年度	2014年度	増減		計画(修正)	
			増減額	増減率	計画	計画差
売上高	99,047	104,404	5,356	5.4%	104,350	54
検査事業	94,869	99,382	4,513	4.8%	99,470	-88
臨床検査	91,162	95,427	4,265	4.7%	95,520	-93
その他検査	3,707	3,955	247	6.7%	3,950	5
医療情報システム	4,000	3,607	-393	-9.8%	3,500	107
その他事業	176	1,413	1,236	699.1%	1,380	33
営業利益	8,188	6,974	-1,213	-14.8%	6,650	324
経常利益	8,582	7,527	-1,054	-12.3%	7,050	477
当期純利益	4,990	3,874	-1,115	-22.4%	3,810	64

2014年度業績概要

年間業績推移(連結)

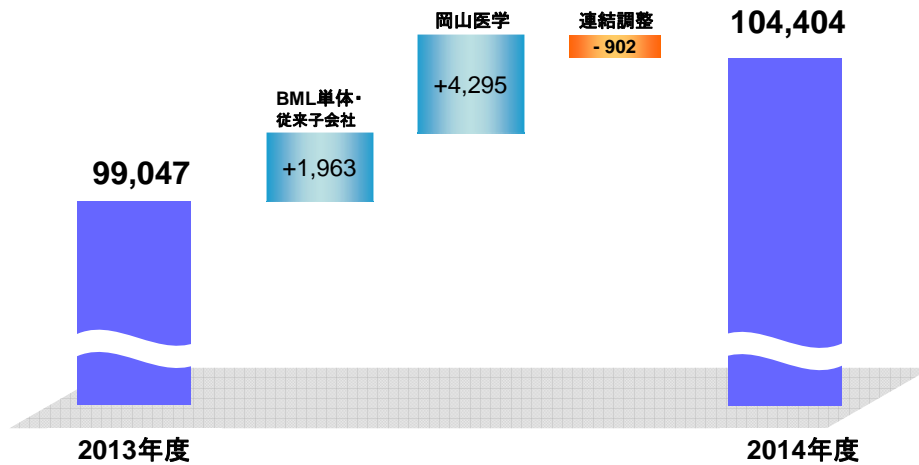
(百万円)



2014年度業績概要

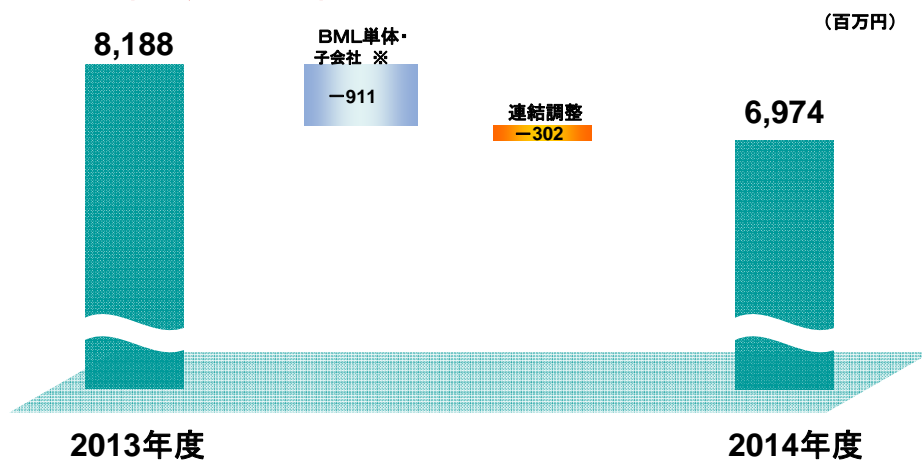
売上高 1044億4百万円
前期比 53億56百万円 (5.4%) 増収

(百万円)



2014年度業績概要

営業利益69億74百万円
前期比 12億13百万円 (-14.8%) 減益



※岡山医学検査センターのれん代含む

2014年度業績概要

減益の主な要因

- 業者間競争激化・診療報酬改定による価格下落
- 首都圏におけるラボ新設・移転に伴う設備投資・人員増
- 国際治験の取引価格の改定
- M&Aに伴うのれん償却発生
- 人事制度変更に伴う処遇改善

臨床検査事業の概要

売上高954億27百万円
前期比 42億65百万円 (4.7%) 増収

▶ **新規開拓が堅調に推移**

▶ **重点検査項目の営業推進が売上に貢献**

◇アレルギー・甲状腺関連・NT-ProBNP(心不全バイオマーカー) 等

▶ **㈱岡山医学検査センターの連結子会社化**

研究開発活動の概況

▶ **当社が取り組んでいる研究分野**

治療薬に対する薬効・副作用の予測に関する検査を中心に研究

分野	検査項目
がん	EGFR遺伝子変異, ALK融合蛋白 IHC, RAS遺伝子変異, UGT1A1遺伝子多型, BRAF V600遺伝子変異
白血病	BCR-ABL遺伝子変異, Major BCR-ABL高感度IS%
先天性疾患	TTR遺伝子変異
肝炎	HBV薬剤耐性変異, IL-28B遺伝子多型 HCVコア遺伝子変異, HCV薬剤耐性遺伝子変異

※赤字: 当期に保険収載された項目

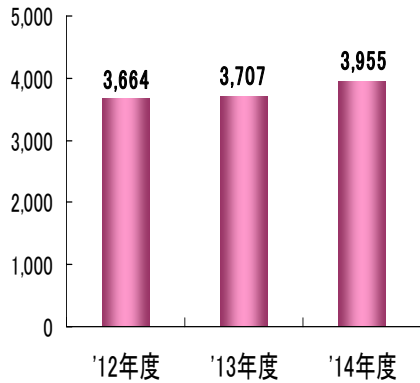
▶ **2014年度上市した研究検査項目**

分野	対象疾患	検査項目	受託開始
リスク診断	大腸がん	Cologic TM (血清中GTA-446測定)	2014年9月
アレルギー	鳥関連過敏性肺炎 (鳥飼病)	セキセイインコ、ハト、オウムIgG	2014年11月

その他検査事業(食品衛生)の概要

売上高 39億55百万円
前期比 2億47百万円 (6.7%) 増収

(百万円) 食品衛生の売上推移



▶(株)BMLフード・サイエンス

- ◇食品衛生コンサルティングの新規受託が増加
- ◇ノロウイルス等腸内細菌検査の拡販が堅調

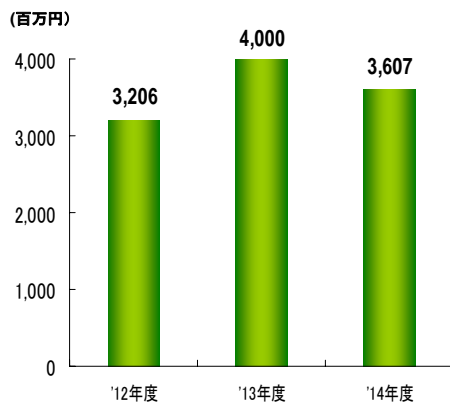
▶(株)岡山医学検査センター

- ◇連結子会社化による売上寄与

医療情報システム事業(電子カルテ)の概要

売上高 36億7百万円
前期比3億93百万円 (-9.8%) 減収

電子カルテの売上推移



▶クオリス(Qualis)

- ◇新規販売・MSからのリプレイス共に減少

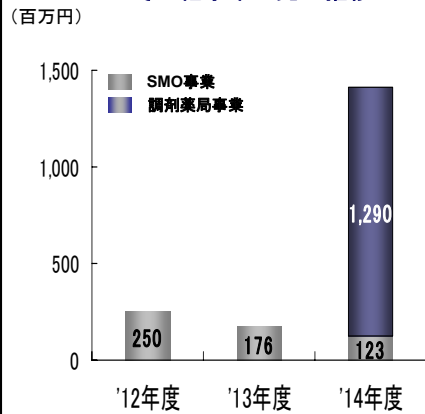
▶メディカルステーション(MS)

- ◇新規販売は減少したが、リプレイスは堅調

その他事業の概要

売上高14億13百万円
前期比12億36百万円 (699.1%) 増収

その他事業の売上推移



▶SMO事業

- ◇治験市場は引き続き厳しい環境が継続
- ◇収益性を重視した取り組み推進

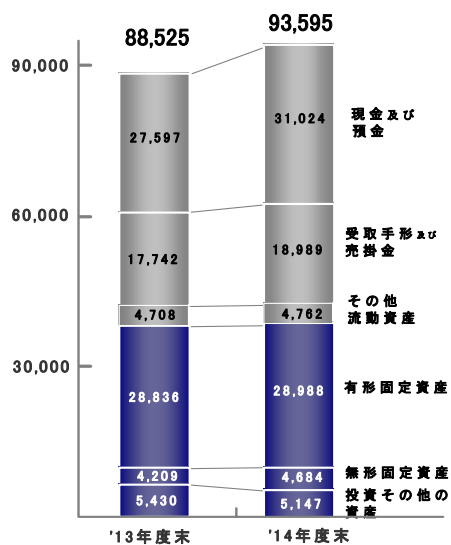
▶調剤薬局事業

- ◇岡山医学検査センター-M&Aにより
今期より追加計上

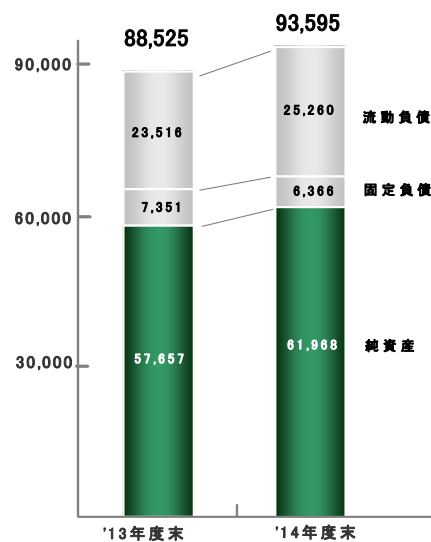
連結貸借対照表の概要

(百万円)

資産の部

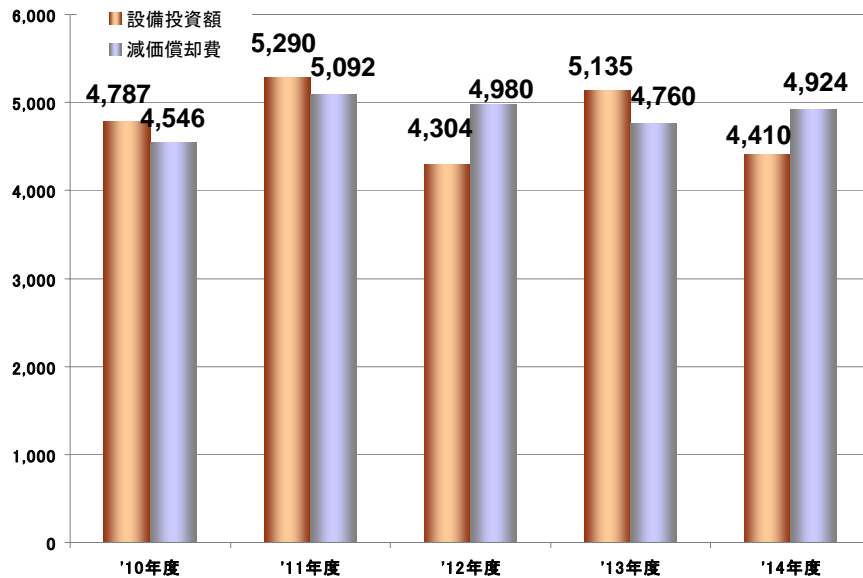


負債・純資産の部



設備投資/減価償却の概要

(百万円)



キャッシュフローの概要

(百万円)

	'13年度	'14年度	増減
営業活動によるキャッシュフロー	10,931	11,495	564
税金等調整前当期純利益	8,568	7,179	-1,389
減価償却費	4,813	4,991	178
のれん償却額	677	988	311
その他	-3,128	-1,663	1,465
投資活動によるキャッシュフロー	-1,762	-4,586	-2,824
定期預金の預入による支出	-2,922	-2,202	720
定期預金の払戻による収入	4,207	3,223	-984
有形・無形固定資産の取得による支出	-3,121	-3,402	-282
連結の範囲の変更に伴う子会社株式の取得による支出	-	-2,167	-2,167
その他	73	-36	-109
財務活動によるキャッシュフロー	-2,622	-2,806	-184
リース債務の返済による支出	-1,359	-1,562	-203
長期借入金の返済による支出	-361	-	361
配当金の支払額	-849	-1,168	-319
その他	-51	-76	-25
現金及び現金同等物の期首残高	18,102	24,649	6,547
新規連結等に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	309	309
現金及び現金同等物の期末残高	24,649	29,061	4,412

2015年度の計画

業績拡大のための戦略

検査事業

■臨床検査事業

- ▶ 新規獲得による市場拡大
- ▶ 重点検査項目の拡販
- ▶ 首都圏ラボネットワークの強化・活用
- ▶ 次世代免疫システムの構築

2015年度の計画

(百万円)

	2014年度	2015年度 通期予想	対前年	
			増減額	増減比
売上高	104,404	106,500	2,096	2.0%
検査事業	99,382	101,350	1,968	2.0%
臨床検査	95,427	97,270	1,843	1.9%
その他検査	3,955	4,080	125	3.2%
医療情報システム事業	3,607	3,730	123	3.4%
その他事業	1,413	1,420	7	0.5%
営業利益	6,974	7,100	126	1.8%
経常利益	7,527	7,550	23	0.3%
当期純利益	3,874	4,300	426	11.0%

(連結ベース)

当資料取り扱い上の注意点

<将来に関する記述等についてのご注意>

本資料に記載されている将来に関する見通し、戦略、計画に関する記述等は、当社が現在入手している情報に基づく本資料作成時点での種々の前提に基づいた当社の判断であります。従ってこれらの記述・前提は、その内容の正確性を保証したり、将来の計画数値、施策の実現を確約したりするものではありません。今後、様々な要因によって記載の見通しと異なる結果を生じえるリスクを含んでいます。

また、今後予告なしに変更されることがあることをご了承下さい。